

開校150周年

記念誌

祝 150周年記念



2023

津幡町立津幡小学校

津幡町立津幡小学校

創立150周年記念誌



ごあいさつ

創立150周年を迎えて

津幡小学校 校長 稲垣 一郎



津幡小学校創立150周年記念事業を実施するにあたり、久世実行委員長をはじめ実行委員、応援団の皆様には、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。私が校長として赴任した令和5年4月には、記念事業に向けての準備はすでに蕭々と進められておりました。実行委員、応援団、地域の皆様とお話をする度に、本校の長く莊厳な歴史と素晴らしい伝統の重さに、身が引き締まる思いをしております。私自身は、津幡小学校の1年生です。皆様方の強い津幡小学校愛に心を揺さぶられ、津幡小学校を知ることからのスタートでした。校長室には、歴史を感じさせる校舎の白黒写真や古い歴史アルバム、教科書、職員室には入学・卒業アルバムなどの他に、研究紀要がずらりと並び、津幡小学校教育の輝かしい歴史を回顧することができます。

明治6年5月1日に、加賀爪弘願寺に仮校舎として創設され、150年の間に、明治、大正、昭和、平成、令和と地域の方々の力で様々な困難を乗り越えて移り変わってきました。大正2年に大西山に木造校舎が完成した時は、落成式に続き旗行列や提灯行列、さらには、運動会等も行われ町を挙げお祝いをしたそうです。また、大西山で行われた相撲大会では、臨時列車が出るほどの賑わいだったというエピソードも知りました。このように、津幡小学校は地域の皆様にとって、文化の中心であり、心から愛される学校として歴史を刻んできました。

校歌の歌詞に「学びの道に 進みてやまず この世の花と 咲きて匂わん」とあります。この言葉が意味するように、これからのお子も達には、自らが課題意識を持ち、常に主体的に学び続けながら、自分の道を切り拓き輝いてほしいです。さらに、学校やふるさとについて、友達や教職員、地域の教材や人とつながり合いながら学び、知り得たことを伝えていく楽しさを実感することはもちろん、津幡小学校の歴史を担う一人であることに誇りと喜びを感じてほしいと願っています。

教育活動が大きく見直されている状況ではありますが、津幡小学校が今後ますます発展し、子ども達の笑顔があふれる学校になりますよう、教職員が一丸となって努力し、皆様に愛され信頼される学校であり続けることをお約束いたします。

最後に、私たちの学校創立150周年をお祝いするとともに、今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。津幡小学校創立150周年、本当におめでとうございます。

ご挨拶

PTA会長 久世 恵司



津幡小学校は令和5年、開校150周年を迎えました。大正、昭和、平成、令和という激動の時代を超えて、多くの人材を育成し、輝かしい軌跡と共に今日に至っています。その創立150周年にあたり皆様とともに祝いできました事を心より嬉しく思っています。

この度、実行委員長をお受け致しましたが、事業遂行の責任の重さに身の引き締まる思いであります。実行委員会が立ちあがり、学校、PTA、地域の皆様から温かいご助言を頂きここに至りました事、厚くお礼申し上げます。

本年、開校150周年という歴史的な年を迎え、学校、PTA、そして地域と一緒に残る記念事業に取り組んで参りたいと考えています。ここまで、津幡小学校の校舎から巣立った方々、6年間を温かく育んでくださった方々、登下校の児童たちを見守ってくださった地域の方々に幅広くお声掛けをし、多数のご賛同を頂きました。150年間に多くの子どもたちが学び舎から巣立っていく中には親子代々にわたる卒業生の御家族も多いことと思います。また、多くの先生方に学び、地域の方々からは温かく見守って頂き、子どもたちの育成にご尽力を頂いてきました。そして、周年行事としてお祝いするだけでなく、「150年」という歴史を子どもたちに感じ取ってもらいたい。こうした願いを込め、記念式典までの間、学校行事、PTA活動についても「150年」を打ち出していきたいと考えています。ぜひ、保護者、地域の皆様方の一層のご理解、ご支援をいただければ幸いです。

巣立つ子どもたちの心に細やかな刺激を送り、その人生の節目に思い出となって蘇る、そんな事業になるよう願いました。同校の歴史を祝う者の一人として、今のひと時が、150年後に再び顧みて頂けるそんな一瞬になれば良いと思っています。

本校の歴史と伝統、その重みを改めて感じているところであります。記念事業が順調に進みました事に感謝し、津幡小学校が次の150年に向け更に飛躍する事を祈念しましてご挨拶の言葉と致します。

祝 辞

津幡町長 矢田 富郎 1961年(昭和36年)度卒業



津幡小学校の創立150周年を心からお喜び申し上げます。

私は、昭和37年春の卒業生になります。創立で言えば90周年の頃にあたるでしょうか。母校である津幡小学校が150年という節目を迎えたことを大変感慨深く思います。

小学校時代を思うと、様々なことが思い浮かび大変懐かしく思います。私達の時代にはまだ校歌と呼ばれるもののがなく、校歌が作られたのは、私達が6年生の頃でした。現在、愛唱歌と呼ばれている「♪ぼくらの学校よい学校大西山の丘の上…強い子よい子津幡っ子」というこの歌を公式な式典等の際に校歌として歌っていました。私にとっての校歌は、愛唱歌と呼ばれている「♪ぼくらの学校…」から始まる歌詞がまず頭に思い浮かばれます。

当時の校舎は、現在の校舎の前の前の校舎で木造でした。津幡小学校には上の運動場と下の運動場と運動場が二か所あり、雪が降ると上と下の運動場の間がスキー場となりました。竹スキーで直滑降のみでしたが滑っていたのが楽しい思い出として甦ります。

また、小学校行事の楽しみの一つとして運動会がありました。一番盛り上がったのが、他校交流選手リレーだったかと思います。中条、井上、能瀬など各小学校からスピード自慢の子ども達が集まり、リレーで競争するのですが、自身のチームを応援するため、会場が一体となっていた光景が鮮明に思い出されます。

町長に就任した折、運動会で他校交流選手リレーがないと聞き、町内の小学生が一堂に会する催しができないかと思いついたのが、現在行われている小学生体育大会です。

わが町の広報特使第1号の女優野際陽子さんも小学生時代には、あのだんだら石段を登って登校したとお話されておられました。そういう意味では大西山の上に立つ津幡小学校は、昔から目立つ存在だったのかも知れません。津幡小学校の歴史は、150年で終わる訳ではなく、今後も地域の冠たる小学校として紡がれていくことでしょう。これからも素晴らしい人材が輩出されるよう心からお祈り申し上げます。

最後に創立150周年を迎えて、いろいろな事業を計画し実行されてこられた関係者の皆様に卒業生のひとりとして心から感謝し、お礼を申し上げます。

津幡町教育長 吉田 克也 1969年(昭和44年)度卒業



津幡町立津幡小学校の創立150周年を、心よりお慶び申し上げます。

学制発布の翌年(明治6年)に創立された本校は、幾度もの戦争をくぐり抜けながら、常に本町初等教育の中心となって、地域の人々と共に歩んできました。私が本校で学んだ昭和40年代前半は、日本の高度経済成長期の真っただ中で、入学の翌年度(昭和41年1月)に木造校舎から鉄筋4階建ての校舎に建て替えられました。大西山の小高い丘に建つ校舎の屋上に出ると、町全体を広く見渡すことができました。天気の良い日は、よく屋上で遠くを眺めながら友達と話したり、鬼ごっこなどして遊んだりしました。

また、20歳代後半からの6年間、本校の教員として勤務する機会をいただきました。母校の後輩たちを教えることができる喜びと責任を感じながら、楽しい時間を過ごしたことを今でもよく覚えています。

現在は、大西山の麓でモダンな校舎に建て替えられ、子どもたちは、空調設備やWi-Fiなどの学習環境が整った中で学んでいます。令和3年度から2年間、本校は、GIGAスクール構想の実現に向けた県のICT活用指導力強化事業のモデル校として一人一台端末の効果的な活用法の研究に取り組み、その成果を県内関係者に公開しました。社会の情報化が急速に進展する中、学校教育においても時代の変化に対応すべく新しい取組が着実に進められています。

一方、いつの時代も脈々と受け継がれ一貫して変わらないのは、子どもたちの健全な成長を願う保護者、地域の皆様の熱い想いです。私たち学校関係者も、創立150年という節目に改めてこのことを真摯に受け止め、子どもたちの成長をしっかりと支え見守っていけるよう努力してまいります。本校の子どもたちには、自分の可能性を信じて目標に向かって挑戦し、一緒に学ぶ仲間との友情の輪を広げていってほしいと願っています。

結びに、本校の創立150周年事業のお世話をいただいた本校職員、PTA、関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、本校の益々のご発展をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

歴代校歌

津幡小学校校歌

作詞 窪田敏夫
作曲 石本一雄

一、古城址に河北の花と
大西山の丘邊に立てば
山はみどりに渦ひらけたり
わが学び舎ここに立てり

二、桜咲く高き丘へよ
強き心に教の道を

ともにたどればその名は永く
わが津幡ぞ誇りの母校

三、いつの日も師と友と
学びの道にすすみてやまず
この世の花と咲きて匂わん
わが学び舎津幡その名ぞ

四、湖わたつてくる風を
強い子よい子津幡つ子
子よい子津幡つ子

ぼくらの学校

作詞 橋安治
作曲 羽喰夏枝

一、ぼくらの学校よい学校
大西山の丘の上
ぼくらの来るのを待つて
ぼくらの来るのを待つて

二、元気いっぱいかけあがる
だんだら石段一、二、三

にこにこ先生待つて
にこにこ先生待つて

三、今日もうれしいお勉強
たくさんならつて帰りましょう
おうちで母さん待つて
おうちで母さん待つて

二、ああ何の幸天地の栄ゆるみよにおおわれら
大和心の一すじに
学びをはげみ健やかに
正しく強くおいしいで
御国に尽くす民たらん

津幡尋常小学校校歌

昭和十三年三月十五日
文部省認可

一、うましね実る河北の野
湖みゆる丘の上
遠き昔の夢のあと

里のほこりの名所に
とおときみこのいでまして
いよよ栄ある津幡校



校 訓



「本校の体育館に掲げられている校訓が前田家第16代当主前田利為の直筆による扁額で、県下に3枚あると言われ、うち1枚は、金沢桜丘高校の体育館にもある。」という話である。前校長の学校だよりの記事によると、「本校の校訓については、確かな記録がなく一説に次のように伝えられている。明治末のある日、乃木希典陸軍大将が津幡町に寄り休憩された時に、当時、津幡尋常小学校第7代校長 澤村成太郎が、本校の子ども達に何か一言とお願いしたところ、「質実剛健」の言葉をいただいたとのことである。

校 旗



大正3年1月5日樹立。

「水」、「槍」、ふるさとの「川」を表す中央白の三条線、校章中央の「津」の文字、「小」の字をかたどる校章「梅花」の芯と花弁の交錯部分、三条線に咲くのは花言葉が少年(少女)である「卯の花」、ウコン色の旗の長方形は人が最も美しいと感じられる「黄金比率」、これらを図案化したもの。

校旗意匠者の佐野常栄氏は、「津幡小学校に学ぶすべての少年少女は、思想健実にして、個性の匂い高く、いかなる世の汚濁にも禍されず、衆にぬきんでた国家有為の人材に生いたたんことを祈り、またその将来を祝福する」という思いを込めたそうである。また、樹立した当時は、旗竿の先には本物の槍をつけ、当時の少年に望む強い願いが込められていたそうだ。



校舎の歩み

本校は明治6年5月に、「津幡区学校」として加賀爪弘願寺に創設されました。明治9年7月には加賀爪木32番地に校舎を新設し、移転しました。

明治20年3月、大西山の上(清水リ100番地)に木造瓦葺2階建ての校舎が新設されました。当時は、この清水校舎と既設の加賀爪校舎に男女が分かれて学んでいました。



大正2年12月、清水の男児部校地に木造瓦葺2階建ての新校舎が落成しました。「津幡町史」によると、大正7年の児童数は尋常科が547名、高等科が79名だったそうです。





校舎の歩み

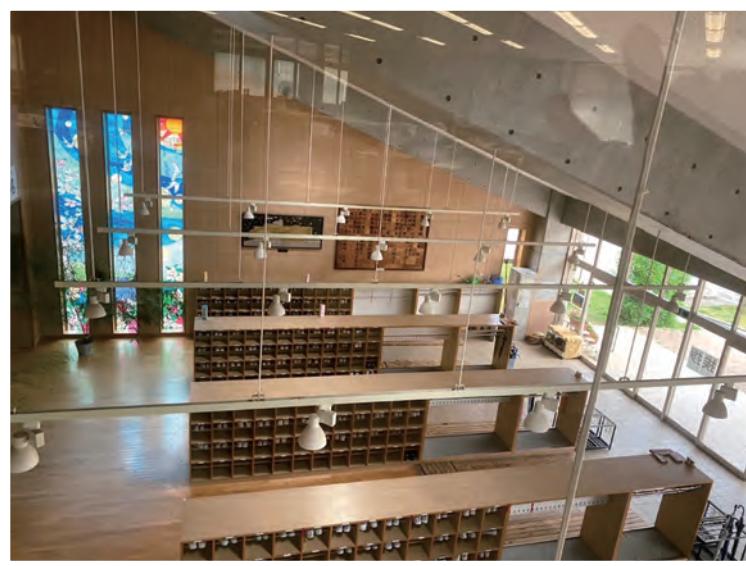
昭和41年1月には、鉄筋コンクリート造り4階建ての新校舎が落成しました。先代の校舎とほぼ同じ位置に建てられましたが、地面の高さは2.5m程低くなりました。「津幡町史」によると、昭和48年の児童数は678名だったそうです。



平成23年3月には、現在の校舎が落成しました。鉄骨鉄筋コンクリート造り瓦葺3階建ての校舎は、大西山の下(清水里123番地3)に移転され、広々としたグラウンドもリニューアル整備されました。先代の校舎が建っていた場所は駐車場になっています。令和5年4月の児童数は408名となっています。



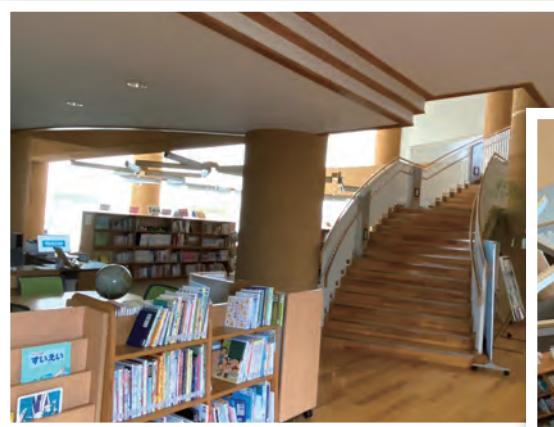
現校舎の紹介



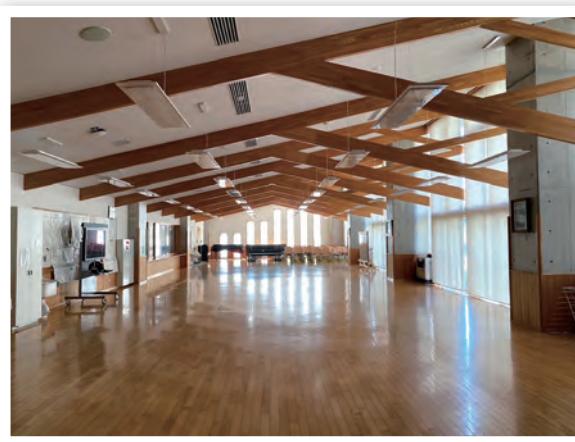
玄関：職員室の窓から玄関の様子が伺えます。



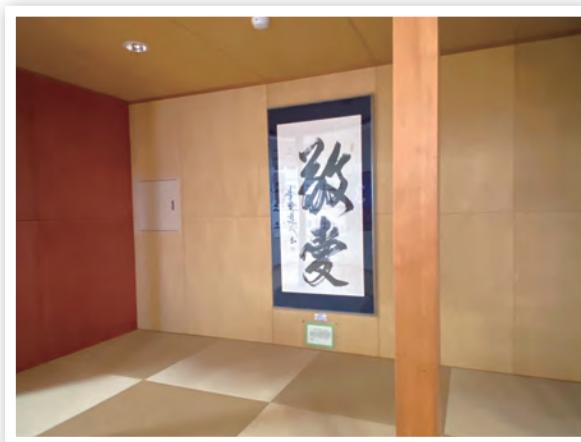
玄関の窓にはステンドグラスがはめ込まれており、とても美しい影を落とします。



図書室：玄関を抜けた先には吹き抜けの開放的な図書室があります。

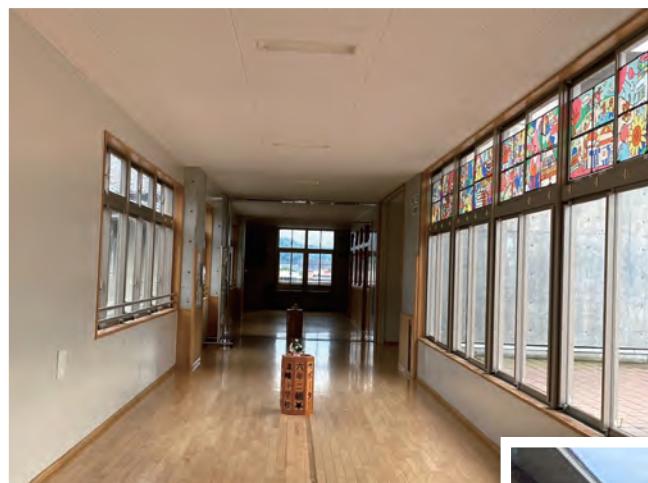


ランチルーム：特別な行事のときに給食を食べたり、ちょっととした集まりに使用したりします。左手は給食室(厨房)でおいしい給食は毎日学校の中で作られています。



レストランスペース：2階廊下の中ほどにある和室の小上がり。ちょっととした休憩のために設けられたなんとも風情のある一角です。

現校舎の紹介



廊下：広くて明るい廊下。ここにもステンドグラスがはめられていてとても美しいです。



中庭：光を取り込むための大事な空間
朝顔もここで育ちます。



プール：3階に設けられたプール。
周りの目を気にせず思いつきり泳げます。



パソコン室：一人一台クロムブックを持つようになってからは、使用される頻度が減ってしまいました。

津幡小学校150年の歩み

時代	西暦	和暦	出来事	補足説明
創成期	1868	明治元年	寺子屋時代 師匠：松永賢翁、加藤昇平、山名弥一、中井正固、小島屋某	津幡における寺子屋の師匠たちの名前が残されている。
	1872	明治5年	学制発布	義務制ではなく、授業料を個人が負担していた。
	1873	明治6年5月1日	創立 加賀爪弘願寺を仮校舎として4年制(読書、習字、算術の3科目)	授業料が必要であったため、明治18年の調査では河北郡内で平均41%と就学率は低く、特に女子は低率であった。また、さらに卒業率は低かった。 津幡、清水、庄、加賀爪だけでなく中条、萩坂、笠谷、能瀬、井上等ほぼ全町から児童が来ていた。
	1876	明治9年7月	加賀爪 旧本陣 松本家屋敷内(加賀爪木32番地)に校舎建設移転	
	1883	明治16年	女児学校設立 加賀爪木66番地に建設、当初の共学からここで別学になり、統合されたのは1913年(大正2年)である。	
	1886	明治19年	小学校令公布、小学校を尋常小学校4年、高等小学校4年とした。	
大西山木造一期	1887	明治20年3月	大西山に新校舎落成	高等科尋常科の男児は既存の加賀爪校舎で、女児及び簡易科は新校舎で学ぶことになった。
	1889	明治22年	●津幡町制 4ヶ村 加賀爪、清水、津幡、庄が合併統合	
	1897	明治30年4月	夜学校付設	
	1898	明治31年4月22日	●七尾線(私鉄として津幡口から七尾矢田新聞開業)	
	1899	明治32年	子守学校設置(大西山) 週3日午後2時間 修身、読書、算術、唱歌	女児は小学校に通えない子も多く、「子守奉公」に出すケースが多かつたため、尋常小学校長と町長が相談して、「子守教育」のための学校を小学校に付設した。週3日間午後2時間として、修身、読書、算術、唱歌を科目とした。費用は当初は小学校教師が子守学校の教師を兼務しながらの給料の一部を寄付して賄っていたが、後年は町がかなりの部分を負担。1915大正4年には学則を変更して、入学者の枠を拡げた。
	1900	明治33年	●北陸線津幡駅と本津幡駅間開通	
			小学校北側にテニスコート完成	
	1901	明治34年	大西山から現四つ角への道新設(シンドミチ)	それまでの通学路は、現イケムラ化粧品店さんと久世酒造店さんの間の道と、現高森呉服店さん横からの八幡神社へ通じる道狭い2本であった。大西山校舎正面から直進して四つ角への道は、一般家庭に立ち退き移転を要請するなど小学校への期待の表れの証である。
	1904	明治37年5月	河北郡立図書館校内に付設	
	1906	明治39年	農業補習学校(3年制)、裁縫学校設立	小学校卒業後の教育機関として農業補習学校、昭和10年には軍事教育も兼ねた青年訓練所と併合して青年学校となり、昭和14年に義務制となつたが、終戦後廃止された。
大西山木造二期	1907	明治40年	学制改正 小学校6年義務化、その上に高等科2年設置	
			●7月町内に電気つく。翌年電話開通(20回線のみ)。	
	1912	大正元年12月15日	小学校2階の一部崩落、重傷1名軽傷9名	
	1913	大正2年12月1日	木造新校舎落成 工費33,115円	
大西山木造二期	1915	大正4年	講堂新築(大正天皇ご即位記念事業)	
	1916	大正5年4月	町立裁縫学校(2年制)を小学校に付設	

●世界や町の出来事

※「津幡小学校150年の歩み」は津幡町史、河北郡史、公民館報、商工会80年史、津幡町の百年、わくわく清水、小学校沿革誌をもとに作成したものですが、記載事象、時期にずれ等がある可能性がございますが、ご了承ください。

津幡小学校150年の歩み

時代	西暦	和暦	出来事	補足説明
大西山木造二期	1918	大正7年	在籍児童数 男277名 女270名	
	1920	大正9年	高等科に図画、手工を必修科目 商業、農業を選択科目として加え、英語を随意科目とした。	
	1922	大正11年	●実生保育園(私立幼稚園)開設	
	1927	昭和2年4月20日	●津幡高等女学校開校	
	1933	昭和8年11月30日	伝染病隔離病棟を取り壊し運動場を拡張	これにより運動場は校舎裏既存の運動場(上の運動場)と病棟を取り壊して新設した運動場(下の運動場)の2つとなつた。
	1935	昭和10年	●青年学校設置	
		昭和10年10月30日	●沢村奨学資金制度誕生	
	1936	昭和11年	尋常科12学級高等科3学級正教員15名農業科に1名裁縫科2名級外1名の教員を配置	
	1943	昭和18年6月	旧役場庁舎を忠魂碑横に移設、青年学校校舎とした。	同年12月庭球場を開墾して「報国農場」とした。小学校西侧校舎の屋根に、防空見張り所が設置され、青年学校生を主体に、防空警報指令班が常駐、県庁と密接に電話連絡していた。裁縫室の上に当たる。戦後台風により破損し撤去された。
			現役入隊訓導(教員)3名配置 軍事教育が本格化	このころから「疎開」が始まり、疎開児童の受け入れが始まる。集団疎開として大阪市都島小学校を津幡小、井上小、能瀬小が受け入れ、津幡小で受け入れた児童は徳願寺を宿舎とした。親戚や知人を頼りに個人疎開も多く、故野際陽子さん(女優、津幡町広報特使)はその一員。昭和24、5年ごろまで残っていた児童もあつた。「疎開」とは戦火を逃れるため比較的安全と思われる田舎に避難すること。
	1944	昭和19年	夏頃より高等科は勤労動員が日常化、石川航空工場などへ動員された。	
	1945	昭和20年7月	特設警備隊の宿舎として教室の一部を提供	
	1945	昭和20年8月15日	●終戦	
		昭和20年10月17日	疎開児童の歓送式を八幡神社境内で全児童参加で行う。	
	1946	昭和21年	6・3・3制教育新体制決定、翌年より実施	
			初等科12学級高等科4学級教員16名、級外2名、看護婦1名、現役入隊訓導1名配置	
			養護訓導1名、事務職員1名がはじめて採用、配置された。	
	1947	昭和22年4月	学制改革により高等科は中学として分離し、津幡町立津幡小学校となる。	
		昭和22年10月29日	昭和天皇 国体石川県開催で小学校「下の運動場」で奉迎、このため小学校大修理	
	1948	昭和23年4月1日	津幡農学校と津幡高等女学校が合併、県立津幡高校となる。	
		昭和23年10月1日	児童歌「ほくらの学校」制定 2年1組 橋安治君、作詞：羽喰先生作曲	
	1949	昭和25年10月23日	NHK唱歌ラジオコンクール石川県予選で優勝	
	1952	昭和27年12月22日	弁当保温器設置	

津幡小学校150年の歩み

時代	西暦	和暦	出来事	補足説明
大西山木造二期	1954	昭和29年3月30日	●5町村合併 津幡、中条、笠谷、井上、英田	これを機に横浜は井上校下から津幡校下に変更、その後一時に杉瀬が津幡校下になったが太白台小新設により解消された。
		昭和29年9月21日	給食室完成	
		昭和29年9月27日	正面の松の木 松くい虫により枯れ伐採、翌年当時町長の村佐一氏宅の松を移植した。	
	1955	昭和30年	●津幡中学校鉄筋校舎完成	
	1958	昭和33年1月8日	給食室改修工事 この年テレビ1台備品購入	
		昭和33年6月30日	●小学校裏の旧国道159号線開通	
	1959	昭和34年4月	制服へ完全移行	
		昭和34年8月20日	プール竣工 前庭(現れきしる手前の広場)	
	1960	昭和35年11月11日	校歌制定披露式典	
	1961	昭和36年7月1日	大雨にて臨時休校 この年在籍児童男266名女251名	
	1963	昭和38年1月	豪雪により短縮授業、臨時休校、全職員で校舎の雪下ろし作業連日実施	
		昭和38年7月8日	大雨にて運動場のかけ一部損壊、臨時休校。避難所として裁縫室に5世帯22名受け入れ	
			●津幡中学校統合を完了	
	1964	昭和39年10月	東京オリンピック聖火リレー正走者に卒業生清水の橋本友子さん	
大西山鉄筋校舎期	1965	昭和40年4月	木造校舎取り壊しスタート	3、4年生は中学校の白鳥寮にて、1、2年生および5、6年生は講堂にて授業をしていた。
	1966	昭和41年1月7日	鉄筋校舎落成	大西山を2.5m切り下げ、上下にわかれていた運動場が解消された。
		昭和41年4月	●国立石川工業高等専門学校開校	
		昭和41年8月25日	津幡小PTA全国表彰受賞	
	1967	昭和42年2月11日	体育館落成式	
		昭和42年12月27日	清水八幡神社そばにあつた町文化財「為広塚」、小学校前庭へ移設	
	1968	昭和43年7月23日	プール北側に完成 390万円	
	1970	昭和45年8月1日	常設相撲場にて第1回全国選抜社会人相撲大会開催	
		昭和45年8月16日	校標完成(卒業生の寄付)	
			●野山団地入居開始	
		昭和48年6月30日	運動場拡張工事	
			●行政福祉センター現在地に着工	それまでは清水地内JA石川かほく農協の場所に役場があつた。
			児童数増加で図工室、集会室を普通教室に変更	
		昭和48年9月27日	●ショッピングセンタースカール現在の小学校の場所に開業	
	1976	昭和51年9月1日	太白台小学校新設完成、津幡小学校下は分割され、児童274名、教職員7名が転出した。	
	1980	昭和55年	特殊学級1学級設置	2007年、特別支援学級に名称変更された。
	1981	昭和56年9月30日	校内テレビ視聴に伴う配線工事	

津幡小学校150年の歩み

時代	西暦	和暦	出来事	補足説明
大西山鉄筋校舎期	1982	昭和57年3月10日	なかよし像およびなかよし広場完成。 同年防犯警報装置取りつけ。	
	1983	昭和58年5月22日	第34回全国植樹祭に14名の児童鼓笛隊に参加	
	1984	昭和59年8月23日	●為広卿450年祭、冷泉家当主夫妻はじめ多数参列、歌会開催	
	1985	昭和60年	パソコン1台購入。 翌年6月3台増設して学習室をSSルームに変更。翌々年(62年10月)更に2台増設。	
	1989	平成元年	ワープロ購入	
	1992	平成4年4月	学校週5日制開始(土曜隔週)	
		平成4年6月28日	下水工事完了	
	1994	平成6年9月25日	第18回全国育樹祭に児童21名鼓笛隊演奏に参加	
	1997	平成9年1月27日	正面玄関前、正面坂道に消雪装置設置	
		平成9年9月	パソコン22台導入	
	1999	平成11年4月22日	プール北側を畠地にして学級菜園	
	2001	平成13年5月	ビオトープ完成	ビオトープとは、ギリシャ語の「bios(生物)」と「topos(場所)」の合成語で、生物が自然な状態で生息している空間のことを意味する。自然保護のあり方を示すドイツの言葉で、環境保全や野生生物保護を目的として、森林や池などを整備したのがはじまり。
	2002	平成14年	パソコン5台購入、ADSL工事 校内LAN完了	
		平成14年4月	学校完全週5日制	
現校舎期	2003	平成15年10月	音楽室音響設備工事、12月ケーブルテレビ工事完了	
	2005	平成17年11月	パソコン40台導入、ビデオカメラ等整備	
	2010	平成22年	電子黒板導入、ノートパソコン25台導入	
	2011	平成23年3月	現校舎落成、移転	現校舎は以前は大型商業施設スカール、それ以前は石川織物(株)の工場でありその前は蓮根田で、織物工場建設のため現公民館周辺にあつた「けんじ山」を削り運んで埋め立てた(昭和16、7年ごろか)。
		平成23年10月	ランチルーム給食開始	
	2016	平成28年4月	学校ピニール水田完成	
	2018	平成30年6月	不審者対応訓練	
		平成30年7月	いしかわ版 環境ISO認定	
	2019	令和元年6月	普通教室エアコン稼働	
		令和元年11月	落雷により火災報知器損傷	
	2020	令和2年3月3日	コロナ感染症対応で3月24日まで休校	
			コロナ対応にて 臨時休業、児童受け入れ	
	2021	令和3年2月1日	GIGA Wi-Fi設置 児童一人1台タブレット配布	
		令和3年11月26日	GIGAモデル校として公開授業	
	2023	令和5年3月	令和4年度までの卒業生の人数 6375名	令和4年度の卒業生最後尾ナンバーは6375番。学制改革の初年度からカウントしておりますが、それ以前約70年ほどの間には3千~4千人に近い卒業生がいたと推測されている。
		令和5年4月	津幡小学校150周年スペシャルイヤー	
		令和5年10月21日	津幡小学校150周年式典	

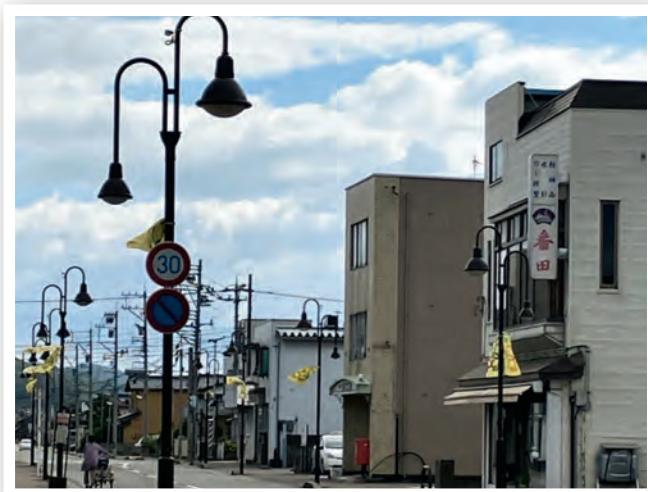
150周年記念事業の紹介

2023年5月 ウォークラリー



1年生から6年生の混合グループで町を散策しながら、津幡町クイズに挑戦しました。
異学年の交流が深まり、町のことも知れるよい機会となりました。

2023年7月～ フラッグアート



フラッグは、パピィ1商店街さん、おやど商店街さん、庄町商店街さんの街灯に設置されていました。6年生の皆さんのが一人一人考えた文字が、カラフルな校章の中央にそれぞれ書かれています。

風にはためくたび、フラッグの黄色が青空に映えていました。



150周年記念事業の紹介

2023年7月～ ポスター展示



1年生～5年生が一人一枚ずつ作成したポスターです。役場、金融機関、郵便局、スーパー、スポーツ施設など、津幡町内各所に展示いただきました。「つばた小 150」の文字と共に、それぞれが描いた絵が、展示されている壁を彩っていました。絵も、学年ごとにテーマがあり、色々な種類のポスターがあって見応え抜群でした。

- 1年 太陽のような学校
- 2年 楽しい学校
- 3年 お花のような学校
- 4年 家族とのふれあい
- 5年 未来の学校

2023年9月 運動会で津幡音頭披露



雨の中始まった運動会、子どもたちの願いが空に届いたのか天気が回復し、運動場で津幡音頭を踊ることができました。

一生懸命練習してきた津幡音頭を地域や保護者の方々と踊ることが出来て、とても嬉しそうな子どもたちでした。

150周年を迎えた津幡小学校で踊った津幡音頭は子どもたちの素敵な思い出になったことでしょう。

ご指導くださった地域の方々、ありがとうございました。

150周年記念事業の紹介

2023年10月 創立150周年記念式典



津幡町長祝辞



6年生発表



5年生発表



小泉詠子さんコンサート



大の里関とハイタッチ



150周年記念オブジェ

150周年記念事業の紹介

10月21日に創立150周年記念式典が開催されました。

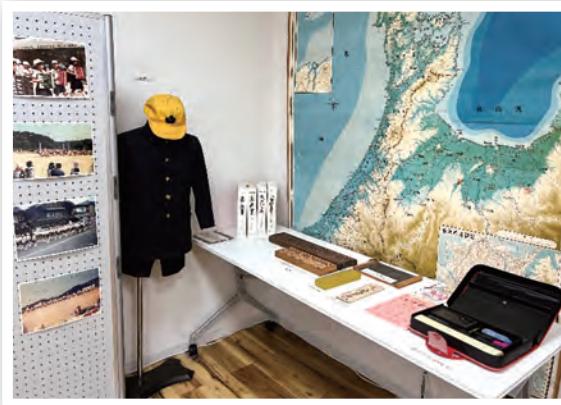
式典の第1部では、歴代の校歌が紹介され、来賓の方々から御祝辞を頂戴する中で、本校の歴史が振り返られました。

また、5年生と6年生による発表が行われ、5年生からは、SDGsを意識した給食のフードロス削減のための取組や、地産地消推進のために考案された地元食材を使用した給食メニューについて発表されました。3つの給食メニューのうち、どれを一番食べたいか、その場でアンケートが行われたのが面白かったです。

6年生からは、ゲストティーチャーを招いて行われたキャリア教育で学んだことが発表されました。「目標に向かって頑張ること、諦めずに全力で取り組むことの大切さを学んだ」「学ぶことの大切さが伝わった」「学校で学んだことを活かして社会に貢献できる人になりたい」と力強く発表する6年生を、とても頼もしく感じました。式典の第2部では、本校の卒業生である、オペラ歌手の小泉詠子さんによるコンサートが行われました。どれも耳馴染みのある曲でしたが、やはりプロが歌うと違います。会場全体が素敵な歌声に包まれ、ドレミの歌と一緒に歌ったときの盛り上がりは格別でした。

当初の予定では式典はここで終わるはずでしたが、サプライズゲストとして、こちらも本校卒業生で現在活躍中の大相撲力士・大の里関が登場し、会場は大きな歓声に包まれました。ハイタッチをしてもらって目を輝かせながら喜ぶ子どもたちの姿がとても印象的でした。

2023年10月～ ヒストリー展



れきしるにおいて、津幡小学校の創立からのあゆみが、年表や写真と共に詳しく展示されていました。当時の教科書や教材、思い出の写真、歴代の卒業写真もあり、津幡小学校の歴史を感じられる展示でした。

150周年記念事業の紹介

2023年12月 1年生ホームカミング



地域から30名以上の方々に参加いただき、けん玉やお手玉、あやとり、メンコ、コマ、おはじきなど、昔の子どもたちが親しんでいた遊びをたくさん教えていただきました。

最初は慣れない遊びに戸惑う姿も見られましたが、徐々に夢中になっていく子どもたち。上手にできると大きな歓声もあがり、もっと遊びたかったという声もたくさん聞かれました。

2023年12月 2年生ホームカミング



「もっと知りたい たんけんたい」の学習で、郵便局、もみの木カフェ、Aコープ、アザレア、スガイ書店、たかくらへインタビューに行きました。

事前に一人一つ、知りたいことや聞きたいことを考えた上で質問をし、真剣にメモを取りながら聞いていました。発表会では、インタビューをしてわかったことや発見したこと、驚いたことなどを一人ずつ発表しました。子どもならではの素朴な質問や、大人でも知らなかった情報やクイズ形式のものもあって、聞き応え十分でした。町たんけんをしてみてどうだったかという一人一人の感想がそえられていたのが、とてもよかったです。自分たちの町の身近なお店のことを更に詳しく知り、ますます親しみが湧いた様子でした。

150周年記念事業の紹介

2024年1月 3年生ホームカミング



大豆についての発表会を1組は班ごとに1人ずつ、2組は班ごとに行いました。

どの子も大豆についてよく調べてあり、大人でも間違えてしまうほどのクイズが出題されるなど、とても上手な発表会でした。

また、午前中に大豆を煎り豆にしてきな粉を作り、白玉にきな粉やあんこをつけて食べる食事会も行われ、保護者と一緒に味を確かめながら食べました。とても美味しく、また家でも食べたいと言う子もいたほどです。

どの子にもためになる授業になりました。

2024年1月 4年生ホームカミング



『二分の一成人式～夢への一歩～』と題した式典が行われました。

「証書授与」に始まり、「ぼく・わたしはだれ?」クイズでは、子どもたちの小さな頃の写真が次々投影され、懐かしさと昔の面影からの成長をみんなで共有できました。

「夢宣言」では十人十色の夢が語られ、大人になって忘れてしまった夢を持つことの大切さを改めて思い起しました。

全員合唱は「ひまわりの約束」、せつなさと優しさのこもった歌詞が子どもたちの歌声と相まって大人たちの感動を誘っていました。

全体を通して、保護者にとっては普段見られない子どもたちの成長が垣間見られた素敵なものでした。

150周年記念事業の紹介

2023年11月 5年生ホームカミング



保護者や地域の方へ向けて合唱を行いました。毎日みんなで練習してきた歌声を披露することができました。今年の夏は津幡町での水害で多くの方が被災されました。その方々へ元気になってほしいという意味も込めて『花は咲く』を歌ってくれました。とても美しい歌声は多くの人の心に残ったことでしょう。堂々と元気に歌う姿がとても素敵でした。

2023年9月 6年生ホームカミング



『人生の先輩の話を聞いて、自分の将来に繋げる。』を目的として開催されました。ゲストティーチャーが、今の仕事に出会うまでのきっかけや、今まで歩んできた経験談に驚き共感し笑い声に包まれながら、感じた事をノートに書き真剣な眼差しで聞き入っていました。実際にお仕事で使用する物に触れ、その仕事内容に興味を持ち、働く事の大切さを感じた時間だったのでないでしょうか。“人のためになる仕事”、“みんなを幸せにする仕事”、「そんな仕事につきたいな」との、子どもたちの声も聞こえました。学んだことや感じたこと、考えたことを150周年記念式典で発表しました。

歴代校長

中川氏以前は不明のため、中川氏を初代としています。

1	中川 富三	不 詳～明治18. 6
2	丹羽口了二	明治18. 7～明治25. 7
3	吉川佳一郎	明治25. 8～明治30. 5
4	庄田 常保	明治30. 6～明治31. 4
5	丹羽口了二	明治31. 4～明治31. 4
6	河村 音吉	明治31. 7～明治33. 3
7	加納 信敬	明治33. 3～明治38. 7
8	澤村成太郎	明治38. 7～大正15. 4
9	三島 理保	大正15. 6～昭和4. 7
10	村田 伊雄	昭和4. 8～昭和6. 3
11	山田善太郎	昭和6. 3～昭和8. 1
12	好井 寛治	昭和8. 1～昭和11. 3
13	坂本六兵衛	昭和11. 3～昭和14. 6
14	斎田 孝正	昭和14. 6～昭和18. 3
15	松田 榮吉	昭和18. 4～昭和20. 3
16	鶴見 久	昭和20. 4～昭和22. 3
17	廣瀬 吉郎	昭和22. 4～昭和23. 3
18	見本 精	昭和23. 3～昭和23. 4
19	長柄他喜男	昭和23. 4～昭和24. 10
20	横田 茂	昭和24. 10～昭和28. 8
21	渡辺 平作	昭和28. 8～昭和32. 2
22	正元長三郎	昭和32. 4～昭和39. 3
23	木谷 安正	昭和39. 4～昭和40. 3
24	真田 勇治	昭和40. 4～昭和41. 3
25	山田 健一	昭和41. 4～昭和45. 3
26	喜多善三郎	昭和45. 4～昭和48. 3
27	北岡喜十郎	昭和48. 4～昭和50. 3
28	丹羽 修平	昭和50. 4～昭和52. 3

29	杉本 清	昭和52. 4～昭和56. 3
30	平村 欽一	昭和56. 4～昭和61. 3
31	竹田 輝一	昭和61. 4～平成1. 3
32	山森 茂	平成1. 4～平成3. 3
33	田中 仁志	平成3. 4～平成6. 3
34	飯田 一郎	平成6. 4～平成9. 3
35	由雄 捷悦	平成9. 4～平成11. 3
36	井上 貴之	平成11. 4～平成14. 3
37	中川 義昭	平成14. 4～平成17. 3
38	小泉 博	平成17. 4～平成20. 3
39	川村 敏幸	平成20. 4～平成24. 3
40	濱野 節夫	平成24. 4～平成28. 3
41	菅谷真佐子	平成28. 4～平成30. 3
42	茶谷 昭	平成30. 4～令和2. 3
43	坂本由紀子	令和2. 4～令和3. 3
44	坂井 文代	令和3. 4～令和5. 3
45	稻垣 一郎	令和5. 4～





歴代校長からのお言葉

津幡小学校の思い出

第30代校長 平村 欽一

大正末期に生まれた私は、見るからに弱々しい子供だった。その私が小学校に入学して初めて手にしたのは「石筆、石版」という平たい石の板に字を書く今の時代においては大変珍しい筆記用具だった。鉛筆やボールペンがふつうにある時代の皆さんに想像できますか？

学校には教室棟のほかに体育館があるが、昔は体育館と同じ使い方をする建物として講堂があった。その講堂の正面には校長先生が話をする教壇があり、教壇の後ろには「奉安殿」というしつらえがあった。それは扉が鍵によって閉ざされ、定められた国の祝日にだけ開けられた。

校長先生は白の手袋をつけその扉を開け、うやうやしく天皇陛下のお言葉が書かれた「教育勅語」という文章を読み上げた。教育勅語の他に天皇、皇后の「御真影」写真も納められていた。

私が生まれた家は茅葺きで移転前の小学校の建つ「大西山」のふもとにあった。大西山は今よりもっと小高い丘で、海拔はおよそ十八m位だったかと記憶している。

大西山の坂は現代のようなコンクリートで舗装されておらず、雨で坂の土が流れないように横木で土止めがしてあった。そこに木造校舎が建てられていたが、男子玄関が右、女子玄関が左で二階建て木造校舎の教室は全て男子教室と女子教室に分かれていた。校舎に隣接する忠魂碑にはなぜか昔の海軍の魚雷が飾ってあった。

その昔運動場は狭いものだったが、後に上下二段の運動場に拡張され随分広くなった。当時の私たちは青竹を割って作った手製の竹スキーで先端に結んだ紐をコントロールしながら斜面のスピード感を楽しみ、冬のひとときを過ごしたものだった。

かつて、大西山にあった尋常小学校の卒業生としてこの頃の事は本当に懐かしい。この後母校津幡小学校の教師として、更に同校の教頭そして校長として六十歳の退職まで勤められたことは私の望外の喜びであり、皆様への感謝に堪えない。

あるとき、とある東京の校長会が「伝統ある小学校」の視察として本校へきたときの事である。一行の表情は「この学校のどこに伝統があるのか？」と納得のいかない様子だった。

若かった当時の私は視察団に対しこう言ったのを今でも鮮明に覚えている。

「伝統は私の胸の中にはあります！」と。

本稿を寄せていただいた後、令和5年4月、ご逝去されました。

小学校の思い出

第34代校長 飯田 一郎

私が津幡小学校へ入学したのは、昭和二十二年(1947年)です。生まれは昭和十六年一月なので、一応戦前の生まれということになります。学年二学級で、名簿は男女別で早生まれの子は、四月生まれと比べると発育に差があるためと思われますが、今のような「あいうえお順」ではなく「生年月日順」でした。

入学まではカタカナは読めると思っていたのに、初めて見た教科書の文字は、見たこともない文字ひらがなだったことを覚えています。しかし、その時の国語の最初のページが何であったかまでは覚えていません。このことは後から知ったことですが、私たちは戦後の六三制の新しい教育制度最初の入学生だったのです。

戦後教育制度の一回生のため、それまでの修身や教育勅語は全く知らず、黒塗りの教科書もみた記憶がありません。しかし、式典の際に「一同礼」の号令や君が代の齊唱などは今も残っています。名残りとすれば、学校に置かれた天皇のお写真(御真影)をいち早く火災や盗難から守るため先生方に宿直勤務があつたり、六年当時担任だった西川先生の宿直の夜に、時々友達数人と遊びに行つたことがなつかしく思い出されます。私が教員になつてもこの制度は残つており、昭和四十年後半まで続いていました。

歴代校長からのお言葉

小学校在学中の校舎は、木造の古く伝統のあるもので、口の字が二つつついた左右対称で、中央の入り口に続く廊下は広く、突き当たりに講堂がありました。また、その入口の左側に大きな太鼓がつってあり停電時には鳴らされました。口の字形の中央には二つの中庭があり、その中庭に面して廊下、その外側に三間×四間の教室が配置されていました。

校舎の作りの大きな違いといえば、戦前は向かって左側が女子用で右側が男子用と分かれていたそうで、左奥には扉のついた女子用トイレ、右奥には男子用トイレがずらりと並んでいたことでした。

二年生の時だったと思いますが、それまでなかった校歌の募集がありました。同級生の今は亡き橋安治君の歌詞が採用され、以来ずっと「ぼくらの学校」を校歌として様々な場面で歌っていました。

また、その当時の校舎の建っていた高さは今の忠魂碑のある高さで、校地の右端に八幡神社の尾根の上部が少し見えるくらいでした。そのため、お宮さんのたまりで学校行事には雨が降るといわれたものです。

上の運動場と下のそれとがならされて、鉄筋の校舎に改築された折に、正面に立派な松が移植されました。これは当時の村佐呂服店の庭にあったものを譲り受けたものと聞いており、校長に赴任した折、「これを枯らしたら首やぞ」と冗談めかしに言われたものです。その松も今は無く、校舎も移転し、時の移り変わりの早さを感じています。

津幡小学校創立150周年によせて 雜感

第39代校長 川村 敏幸

今年で津幡小学校が創立150周年を迎える記念に原稿依頼を受け当時を懐かしく思い出させて頂きました。

私が津幡小学校へ赴任したのは、2008年の4月、今から15年前の事です。校長2年目の新米校長が素晴らしい先輩方が「質実剛健」の校訓のもと、連綿と築き上げてきた格式や伝統を引継ぎ次世代へ繋げていけるか、その重圧に押しつぶされないかという不安と、そんな学校で教鞭をとれるという幸せの両方の思いを抱えながらの事でした。

旧校舎は、大西山の山頂にそびえる4階建ての建物でした。建物は老朽化が進み修繕が必要な個所も多くありました。屋上からは津幡の中心街が一望できるだけでなく、南は「だんだら坂」から金沢へ延びる旧街道と白山を、西には河北潟と長閑な田園風景が、そして、東には立山連峰を望むことのできる大変眺望の素晴らしい校舎でした。

解体が決まるとな、屋上からの景色を撮影するため多くの報道関係者から来校依頼があつたことを思い出します。また、旧校舎最初の卒業生が私と同級生だったことから、解体を惜しみ旧校舎で恩師を招き同窓会を開きたいとの申し出があり快諾したこと思い出されます。更に、20代の卒業生からは旧校舎を見学できるように開放してくれないか、その折、体育館で獅子舞の演舞をしたり、壁面に落書きコーナーを設けたりして来校者をもてなすということが企画され実施して頂きました。

新校舎は2011年3月の完成でした。3月末終業式を終えた後、引っ越し作業が始まります。近岡教頭が陣頭指揮をとり、教職員と児童はもちろん多くの保護者に助けられ4月の始業式・入学式を迎えることができました。私自身が最も心を痛めたのは、児童玄関や階段に飾られた歴代の卒業制作の処置についてです。どれを残し新校舎のどこへ飾ろうか、どれを処分するか判断は困難を極めましたが、結局、状態の良いものを残し、2階運動場への渡り廊下に展示することにしました。新校舎での生活がスタートし実際に活動していく不都合な点がいくつか出てきました。一つは雨漏りです。最も悲惨だったのは、屋上プール男子更衣室前の排水溝が落ち葉で塞がれ雨水が3階廊下まで漏れ出し水浸しになり、1階縁の下に大量の雨水がたまってしまったことです。二つ目は、2・3階から体育館へ直接降りていく事ができない不便がありました。三つ目は、子供たちが運動場へ出て遊ぶには距離があることでした。いろいろ不都合や問題はあつたものの子供たちは元気に新校舎での生活を謳歌していました。

ここ3年程は、コロナ禍で普通の学校生活を送ることのできない状況でしたが、これからはマスクをはずし、思いっきり大きな声を出し普通の学校生活が送れるようになることを願うばかりです。取り留めのないことを書いてきましたが、津幡小学校の今後、益々の活躍をお祈りします。

卒業生の思い出

津幡小学校での思い出

1951年(昭和26年)度卒 杉本 武史

先ず、津幡小学校創立150周年を記念してお祝い申しあげます。

さて、私の思い出は4年生のとき、つまり昭和24年になります。

校舎西側にテニスコートが一面あり、津幡町庭球協会の方々から庭球を教えていただいた事柄です。

当時協会の方々は越坂さん(町助役)酒井さん(医師)鍛治さん(八百屋)石黒さん(建具屋)由雄さん(魚屋)折橋さん(会社員)西出さん(会社員)田辺さん(米屋)越元さん(会社員)川端さん(会社員)他数名の皆様であったと記憶しています。

町庭球協会は大正の頃から活動されていたと町体協定に記録されています。

七月には郡体、八月中旬には県体が開催されるため協会の方々が夕方コートに集まって来られ練習されています。この様子を見ながら自分はコートや隅でボールを拾いそして集めながら手渡していたように記憶しています。

雨天時以外は級友3名ほどと毎日のようにコートに立ちボールを拾い手伝うようになり、協会選手の皆さんと親しくなったようです。

校舎西側出入口近くの物置にガットの切れたラケットや先の方が折れたものが数本リンゴ箱に管理されていてそれを持ち出し遊ぶようになり、ボール拾いも使用不可能なラケットを持ち手伝っているうちに、選手の中には自分のを使って「ボールを打ってみよ」といわれ喜んでラケットを持った時は嬉しくて自分は親に庭球したいのでラケットを買って欲しいと頼んだことを覚えています。願いは叶いませんでしたが協会の皆さんを借りて本格的に扱いが出来るのを同時にメンバーがいないとき代理になり、プレーに参加できるまでになった時は6年生でした。この間に素振り、プレーなど教えていただいたことは今も体に覚えています。プレーが少しできるようになってからは誰よりも先にコートに出てネットを張り準備をしたものです。

当時、選手の方でも裸足の練習、下着一枚作業ズボンの裾を折り曲げての様子でした。自分ら子供たちも当然裸足で走り廻っていたこと懐かしく思いだします。

小学校時代に培った庭球は現在も体の中に染み込んでいます。



津幡小学校の思いで

1955年(昭和30年)度卒 池野 忠

昭和25年4月新しいランドセルを背負って坂を登ると正面に威厳のある松と右手に二宮金次郎の銅像が入学を迎えてくれた。担任は木谷とめ先生。怖そうだった。2組は泉先生の担任。

4年生の時、昭和28年には、内灘射撃の大砲の大きな音で教室の窓ガラスがガタガタ音をたて、前庭の木々の葉が音をざわざわと揺れ動き、戦争の怖さ、恐ろしさを知った。

よく遊んだ。とくに近くの清水神社では、神社の堀の上を歩いたり、床下で秘密基地をつくり、かくれんぼ、鬼ごっこは毎日だった。担任の先生の宿直の時、小使い室で話したり、夏休みにキャンプや先生の自宅に遊びに行ったりもした。最近のIT通信中心の教育より、心の通った人間教育であったようにも、思われてならない。

お腹が減った、七尾線のディーゼル列車の汽笛を聞き、もうすぐ給食と期待したのも懐かしい。5年生のとき1クラス増の3クラス編成になり、又、担任の体調不良のため3人の先生になった。6年生は模型飛行機でよく崖の下の運動場へとばし競争した。

学校以外では津幡太白神社近くにあった戦没者遺族入居の母子寮から通学した。ぼくらの学校の校歌3題目にお家で母さん待ってるの詩があるが、寮生活の自分たちにはお母さんは働いていて帰宅しても居ない。日曜以外は、入居児童が共同炊事場で母の帰宅までに七輪で火をおこして夕食の準備をし待っていた日常生活だった。又、腹がへり、インゴを焼いてたべたり、キャベツを細切りし醤油をかけて、部屋のいろいろを囲んでみんなで夕食前にたべたり、寮の先輩から勉強を教えてもらったりした。なつかしい。学校で連休あけに、昨日はお父さんお母さんとかどこへ遊びにいってきたかとの問い合わせに、父がいてくれたら、何を一緒にしているだろうとの夢をえがいた。その言葉は今でも脳裏から離れない。

津幡小学校の卒業児童は全員、津幡中学へ入学する。31年3月卒業の同窓会は、中学校同窓会を兼ねて多く実施している。

最近は傘寿の祝いを一泊で実施した。次は米寿を元気で迎えることを目標にしている。



卒業生の思い出

曾祖父から孫まで津幡小学校六代連続

1962年(昭和37年)度卒 杉本渉

津幡小学校創立百五十周年の節目を迎えているとお聞きし、長きに渡って存続していることに感動し、卒業生として誠にめでたく関係各位のご助力の賜と深く感謝しています。祖父存命中に聞いた話では、私方ルーツは鎌倉時代に遡り私で十八代となるそうです。生業については、江戸時代河北一帯から生産される藩米の集積蔵群が加賀爪区にあり加賀藩の御蔵番役六右衛門として藩米の管理をしていたが、最後の代の長男が曾祖父作太郎にあたるものです。

二代目は祖父清で尋常高等小学校卒業後、師範学校に進み教員をしていました。

三代目は私の母であり、津幡尋常高等小学校を卒業し太平洋戦争に伴う勤労奉仕で苦労したそうです。

四代目は私で、思い出としましては三、四年生のころ校歌が「ぼくらの学校よい学校、大西山の丘の上、強い子よい子の津幡っ子・・・」から「古城社に河北の花と、大西山の丘辺に立てば・・・」と変わったこと。木造校舎正面左手高学年用玄関脇に植えられていた大木トチノキの天辺に上がって遠望したら河北潟、内灘砂丘、さらさらした金沢の町並み、そしてずっと遠くに白山連峰、日本海等がくっきりと見渡され感動したこと。冬場下校時友達数人で前の急坂にさしかかり斜面がツンツルテンになっているのが分からず一緒に滑って転んで大笑したこと。

五代目は私の息子であり、六代目が現在津幡小学校の五年生の孫で五代目と同じく少年野球「どんぐり」の一員として汗を流して頑張っています。

今後七、八代と続けていくには至難なことだと思われますが、地域密着の活動を行い家族仲良く一致団結していくべきだと自ら道は開かれると思っています。

津幡小学校創立百五十周年に向けて

1974年(昭和49年)度卒 鳴 弘

津幡小学校創立百五十周年おめでとうございます。私は昭和四十九年度の卒業生になります。津幡町で生まれて津幡小学校を卒業後もずっと津幡町で生活しています。当時の津幡小学校は大西山の上、今のグラウンド部分にありました。(確か校歌にも出てくるはずです)。この緑豊かな津幡小学校での思い出といえば、町の子供相撲大会で優勝したこと、学校行事での学芸会、運動会、水泳大会などの行事ばかりでなく、毎日の授業、楽しみにしていた給食、どれをとっても私にはとっても大切な思い出です。そして、一番大切なのは、この多感な小学生時代と一緒に過ごした友達です。今はもう津幡町を出て地元にいなくても、かけがえのない友達であることは間違ひありません。これからも、永遠に津幡小学校が続き、そして、多くの津幡の子供たちを社会に送り出していただきたいと思います。

創立120周年の思い出

1993年(平成5年)度卒 佃田 直史

今回この寄稿のお話をいただき、引っ張り出してきた30年前の卒業文集。そこには「祝 津幡小創立120周年記念」というタイトルの作文が綴られていました。思い起こしてみると、卒業の年が母校の節目と重なったことは、当時の私にとって小学校生活の中でとても印象的な出来事でした。特に印象に残っているのは、体育館でカルタ大会をしたことです。読み句は地域や学校の歴史を題材として自分たちで考案し、取り札も手作りしました。また、取り札が新聞紙サイズくらい(だったと記憶しています)の巨大カルタでした。

当時のことがもう少し知りたくなり調べていたところ、津幡小で教鞭を執っていた方から「創立120周年記念式」の式次第を見せていただくことができました。それによると、記念式典は平成5年11月20日に挙行されました。式典では、「歴代の校歌紹介」として「津幡尋常小学校校歌」や「ぼくらの学校」という歌が紹介されたようです。式典に続いて、児童集会で「歴史カルタ取り」が行われました。翌21日には、記念事業として「児童図画・習字作品展」が催され、PTA主管の「津幡小百二十年の歩み展」と「記念行事協賛バザー」も併催されたとのことです。

あれから30年。わが子二人も津幡小で学んでおり、創立150周年の節目に立ち会うこととなりました。この巡り合わせを大切にし、子どもたちと母校の歴史や思い出について話をしたいと思います。

卒業生の思い出

津幡小学校の思い出

1996年(平成8年)度卒 荒井 克史

「ルネス金沢や！」

「ほんとや！オレンジ色の屋根みえる！」

6年生のとある休み時間、小高い丘の旧校舎の4階。窓に集まった僕たちは、金沢方面の遙か彼方に点のように浮かぶ、みんな大好き「ルネス金沢」のオレンジ色の屋根が肉眼で見えたことに大興奮。だが39歳になった今、同級生にその話をしても誰も覚えておらず、信じてはくれません。

当時の校庭には、1本の大きな木がありました。

1階にいた1年生の頃。

大きな木の根本が邪魔で、金沢方面は見えません。

3階になった3年生。

同じく大きな木の葉っぱで金沢方面は見えませんでした。

5年生になり4階。

大きな木のてっぺんが邪魔で金沢方面は見えませんでしたが、段々と日当たりが良くなりました。

6年生の教室になると、ようやく大きな木は見えなくなり、窓からの景色はずっと広い。

ルネスの屋根に大喜びの同級生を横目に、私は思いました。同じ木でも自分が成長すると、その木の見える場所は違い、季節により表情が変わること。

これは中高生になり、大人になんでも同じで、社会の見え方や人間の見える部分はきっと違ってくるのだ。

ルネスの屋根に大喜びの同級生は、あの日の感動を忘れてしまったけれど、今もお酒を飲みながら変わらない笑顔を私の前で見せてくれる。

そんな、とある日の休み時間の笑顔が1番の思い出です。

あの校舎はもうないけれど、この春に自分の子が津幡小に入学した。どんな毎日を過ごし、どんな景色を見るのか。友達と一緒に毎日上書きされていく1番の思い出を、お酒を飲みながら聞かせてね。



津幡小学校の思い出

2009年(平成21年)度卒 森田 ともこ

私は小学2年生の時に英田小学校から津幡小学校に転校してきました。新しい環境に不安な気持ちがありました。校長先生や担任の先生、クラスの子達に「よろしくね。」と温かい言葉をかけてもらうと緊張が解け、少しづつ小学校生活に慣れることができました。

休み時間になると中庭に出かけて遊んでいると捨てられた子猫2匹を見つけ、1匹は命を落とし、もう1匹は息があったので校長先生に助けを求めるべく校長室で育てる許可を頂きました。その日から休み時間になると度々校長室に通い、ミルクをあげたり、優しく撫でたりと、小さな命の尊さを学んだ瞬間でした。校長先生の足下で小さな声で鳴く姿は今でも目に浮かびます。

小学6年生の時に支援学級の子と一緒に授業に参加する機会がありました。初めは自分と違う姿に驚きましたが、担任の先生と自閉症やダウン症について話し合い、「一人一人の長所」と接し方を学びました。担任の先生と一緒に支援学級を訪ね、ボール遊びやしりとりなど遊びを重ねる内に障害とは一人一人の特徴であり、その子が笑顔になるのを見て喜びを感じました。その事をきっかけに、子どもと関わる仕事を目指し、現在保育士としてたくさんの子どもに囲まれながら幸せに生きています。

小学校での生活はどれも大切なものとして今でも心の支えになっています。またあの頃を懐かしみながら、思い出を大切にしていきたいです。



在校生の思い出

たのしかったこと

1年1組 おおまつことや

ぼくがいちばんのしかったことは、たいいくのたからはこびおにゲームです。まいかいさくせんをたてて、どうやったらかてるかかんがえました。せめるときは、チームのみんなでいっせいにスタートして、いっきにせめるさくせんにしました。おににタッチされないように、おにをよけながら、みんなでいっしょにけんめい走りました。このさくせんのおかげで、たくさんでんをいれることができました。でんをいれたしゅんかんは、とてもうれしかったです。また、まもるとときは、あいてのチームにてんをいれさせないように、ゴールのまえでまもりました。じぶんでかんがえて、しっかりまもることができますので、よかったです。また、かけたときは、すこしかなしくて、くわしかったけど、かったときは、すごくうれしかったです。これからも、たいいくのじゅぎょうをがんばりたいです。

たのしかったこと

1年3組 やまもとりんたろう

ぼくが、1がっきてたのしかったことは、3つあります。
1つめは、べんきょうです。「おおきなかぶ」は、まごのやくて、はっきりゆっくりよむことができました。ひきざんのけいさんカードも、たくさんれんしゅうして、1ぶん30びょういないにいえるようになりました。
2つめは、きょうじです。1年せいをむかえるかいで、だいひょうのことばをおおきなこえでいうことができました。ちいきウォークライマーでは、いわいやのまえにあるおきもののかずきかぞえて、せいかいすることができてうれしかったです。
3つめは、ともだちとちからをあわせたことです。8のじとびでは、せんとうにたって、みんなにこえをかけることができました。どんどんとべるかいすうがふえて、みんなでがんばってよかったです。
これからも、みんなできょうりょくして、いろいろなことにチャレンジしたいです。

たのしい思い出

2年2組 川辺みのり

わたしがつばた小学校でたのしかったことや、うれしかったことが2つあります。
まず一つ目はプールです。わたしが1年生のときはもぐろうとしても、こわくて長いあいだもぐれなかったけど、2年生になると、じゅうに思った通りに1年生のときよりも長いあいだもぐれるようになりました。もぐるのがたのしくて、いえのおふろでもよくもぐるれんしゅうをしました。

二つ目は、たくさん友だちができたことです。友だちとおにごっこやあうちごっこをしてあそぶのが大好きです。そして、2年生の7月からしゅうぎょうしきのあいだまで、「みね」という女の子がスペインからやってきて、すぐに友だちになりました。みねちゃんから、スペインは夏休みが2か月半あることや、スペイン語の「ありがとう」は「グラシアス」ということなどたくさん教えてもらいました。3年生になったらまた会いたいな。

たのしかったこと

1年2組 いりえまひろ

ぼくが、たのしかったことはふたつあります。ひとつめは、こくごのがくしゅうでおおきなかぶのげきをしたことです。ぼくは、ただしく、すらすらよむことができるようにならいました。みんなでげきのれんしゅうをするときは、せりふをじゅんばんによむことがむずかしくてうまくいきませんでした。けれど、みんなであきらめないでれんしゅうしたら、うまくおんどくげきをはっぴょうすることができます。うれしかったです。

ふたつめは、ぶうるのじゅぎょうです。はじめは、みずにかおきつけることがこわかったけれども、たくさんがっこうやおうちでれんしゅうをして、すこしづつみずにかおきつけることができるようになりました。さいごのぶうるのじゅぎょうでは、ともだちとすいちゅうじやんけんをすることができて、とてもたのしかったです。らいねんもたくさんぶうるにはいって、もっとじょうずになれるようにがんばりたいです。

ぜんいん 本気の うんどう会

2年1組 おか田七み

1年生のときは、9月27日に、うんどう会がありました。みんながぜん力のあついたたかいでした。みんなまけてもかってもえがおでした。とちゅうで雨がふってきたので、1回ぜんいん中に入りました。わたしは、これでうんどう会がおわっちゃうのかな、と思いました。そして、ほうそうで先生が「うんどう会のつづきをします。外に出てください。」と言いました。そして、またつづきがはじまりました。わたしたちのかけっこは、1いが川手さんでした。川手さんは、足が長くてしん長も大きいので、みんなより一歩が大きいんだと思います。

2年生、3年生、4年生、5年生、6年生もすごかったです。

おかあさんもおうえんしてくれていました。今年も1年生のときみたいにあついたたかいにしたいです。なん年生になつてもわすれられないあついたたかいにしたいです。

ウォークラリーの思い出

3年1組 河南文乃

わたしは、小学校1年生の時につばた町に引っこんできました。友だちのいない、知らない場所ばかりで、学校に行くのも不安でした。3年生になった今では、学童やクラスに友だちもでき、つばた町のいろんな所にお気に入りの場所ができました。

5月にウォークラリーがあり、わたしたちは本つばた駅に向かいました。駅の近くのワッフル屋さんの前を通ると、あまりに大きいしそうなにおいがしました。そこは、わたしの大好きな場所の一つです。ほかにも、れきしるやしょうず、パピーワン通りに行きました。と中、友だちと歩きながらしりとりをしました。大きな友だちと話しながら歩いていくと、遠い場所でもあつという間に行けます。とても楽しいウォークラリーでした。これからもつばた町のことをよく知って、お気に入りの場所をふやしたいです。

在校生の思い出

思い出に残ったウォークラリー

3年2組 松村 彩良

私が津幡小学校でいちばん思い出に残っているのは150周年ウォークラリーです。ウォークラリーに行く前は、どんな場所に行けるかなあ、はんのみんななどんなたんけんができるかなあとドキドキわくわくな気持ちでいっぱいでした。

みんなと行った場所で一番楽しかったところは「しょうずの泉」です。さらさらのきれいな水が流れるしょうずは私のお気に入りの場所の一つです。そこではPTAの方々がクイズを出してくれました。そのクイズでは「昔の人は、泉の水を使ってある飲み物を作っていました。それは何でしょう。」です。わたしは、(コーヒーかなあ。でも昔はあったのかなあ。)と考えていました。答えはなんとお酒。だから昔の人はお酒がすきなんだなあ、と思いました。

今でもウォークラリーに行った時のワクワクは覚えています。みんなで回ったポイントにまた遊びに行きたいです。みんなも、ぜひ行ってみてください!

一生の思い出のウォークラリー

4年2組 山下 さと

私は、津幡小学校150周年記念で、ウォークラリーをしました。ウォークラリーの直前の日、とてもワクワクしながら学校につきました。その前日の夜も楽しみすぎて全然寝れませんでした。そして学校につき、ワクワクして体育館に行き、みんなが集合して、玄関に向かいました。しかし、校門から出た瞬間、モワッと肌に暑さが染み込んできました。「これからこんな状況で歩くの?!」と心のなかで叫びました。なぜこんな風を楽しみにしていたんだろうと思いました。そして、その状態のまま学校の近くのお店や、記念館などに行きました。各学年に行わせた、クイズなどを出してもらいました。シールももらいました。すごく歩くのが辛かったし、日照りも続いていたので、大変でした。

でも、6年生がお話をしてくれたので、そんなことは余り考えることがなかったです。最初にいやだなどと思っていたのは、何だったのだろうと思いました。私も、6年生になったら、そんなふうになりたいなと思いました。楽しかったことは、おしゃべりをしながら歩いていたことです。暑かったけど、友だちとおしゃべりをしていたので、楽しかったです。

学校について、ヘトヘトでした。けれど、その後に食べたお弁当がすごく美味しく感じました。4年生として、できる力を發揮しました。できることは、1年生が並んでいる列がバラバラになっていたら、注意したりすることです。

けがなく安全に行けたし何より、1~6年生みんな楽しそうな顔をしていたので良かったです。この楽しい素敵な津幡小学校がもっともっと続いてほしいです。

津幡小学校の思い出

4年1組 西川 菜々美

私は今年4年生になりました。入学してから4年目です。1年生の時から、学校はとても楽しいです。

4年生になって、もうたくさんの思い出ができました。1つ目は器械運動交歓会です。初めはマットの技ができなかったけれど、毎日頑張って練習したら、後転と開脚前転ができるようになりました。器械運動交歓会本番では技が上手にでき、成功したのでとてもうれしかったです。1年生のときの担任の先生に会えたこともとてもうれしかったです。

2つ目は、キンシューレに自然体験を行ったことです。流しうめんと岩魚づかみが特に楽しかったです。流しうめんは流れてくるそうめんをたくさん取ることができました。うれしかったです。岩魚づかみはしばらく泳ぐ岩魚を探すのがむずかしかったけど、キンシューレの方が優しく教えてくれたので、つかむことができました。焼いてもらって食べると、とてもおいしかったです。津幡は自然が豊かでいいなあとと思いました。これからも津幡小学校でたくさんの思い出をつくっていきたいです。

津幡小学校で一番の思い出

4年3組 竹内 実莉

わたしが一番心に残っていることは、1学期に行われた器械運動交歓会です。私は、運動が苦手で嫌いでした。いつも運動から逃げてばかりで、本気でやることはなく、「自分にはできない」と思うとやりもしませんでした。

4月に先生から「4年生は器械運動交歓会があるので、そこで自分の練習した技を発表します」と聞いたとき、「私にはできない」と思いました。やりたくなかったけれど、体育で器械運動の授業が始まり、しぶしぶ練習をしました。

私は飛び箱をたくさん練習しました。そして、毎日練習を続けていくうちにこつが分かり、小さい飛び箱の5段しか飛べなかった私が、大きい飛び箱の6段を跳べるようになりました。とても嬉しくて、何回も跳びました。器械運動交歓会でも、開脚飛びを披露することができました。器械運動を通して、「なんでも努力すればできるようになる」ということを知りました。これからは、難しいことにもたくさん挑戦していきたいです。

在校生の思い出

小学校で楽しかった思い出 ダム見学

5年1組 岩田 真太郎

僕は、4年生のときに行った、手取川ダムの見学が楽しかった思い出です。見学では、ダムの仕組みなどいろんな質問をしてそれに答えてもらうことができました。おどろいたことは緩やかだった手取川が昔は、暴れ川と呼ばれていたことです。他には、ダムを作るのにかかったお金の量が770億円で家が約2566軒建つからおどろきました。このようなことがわかつて家人にじまんできました。

バスに乗っているときには、先生が有名な建物などを見つけたら教えてくれたりしてくれて楽しかったです。屋のお弁当では楽しくしゃべりながら食べることができたので楽しかったです。あとは、手取川の事がわかつたりする映像などを見せてもらってよかったです。帰りのバスでは楽しく話しながら帰ることができました。行ってから帰るまでずっと楽しむことができてよかったです。

このダム見学は今でも心に残っている大事な津幡小の思い出です。

これまでの思い出

5年2組 出水 愛莉

津幡小学校に入ってから、友達もたくさんでき、色々なことがありました。ときには先生に「静かにしなさい」と注意されたこともありますが、ときには皆で笑ったこともあります。そして入学してから少し経つと学校にも慣れ、新しい友達もでき、楽しい日々を過ごしています。

毎年、楽しい運動会や大変なマラソン大会があります。運動会は勝ったことがないけれど、一生懸命頑張って負けた時でもやりきった感があってとても良いです。そして、初めてのマラソン大会ではスタートしてから少し経った頃に転んでしまいました。でもとても頑張りました。次の時には上位に入り、とても嬉しかったです。そのまた次の年には最後、もう終わると思いつと20mくらいの時にゆっくり走っていると1人に抜かれました。とても悔しかったので「次は絶対に勝ってやる!」と思いました。

他にも色々な思い出がたくさんあります。これからももっといい思い出が増やせると良いなと思います。

小学校生活で楽しかった思い出

6年1組 林 百花

6月の宿泊体験で学んだことは、自分で判断することです。そして成長したことは友達とではなく、一人で行動する力です。

行く前は、「大丈夫かな」と不安な気持ちだったけれど、みんなの楽しみにしている姿や笑っている姿を見て、不安が無くなって、逆に楽しみになりました。実際に滝口さんの話を聞いてからいかだを作って、乗ってみると予想外に楽しくてびっくりしました。乗って漕いでいるとき「どう漕いだら思い通りに行くのかな」と考えたり、「どうしたら早く動くのかな」など考え、友達と協力して一生忘れない楽しい思い出を作ることができました。

これからは先のことを考えることや協力することを学校生活に活かしていきたいです。そして、学んだことを、自分だけではなく、他の下級生にも伝えて、活かしていくともういたいです。例えば、学校生活で活かしていく場面は、授業でグループ活動をするときや掃除をするときだと思います。先のことを考えて協力することをこれからに活かしていきたいです。

印象に残っていること

6年2組 梅川 陽梨

私は、委員会の活動が印象に残っています。

5年生の初めての委員会では「委員会の仕事を少しくらいさぼってもいいだろう」という軽い気持ちでいました。しかし、担当の先生に「仕事をさぼったら自分はいいかもしれないけど他の人には迷惑がかかるから、全力で取り組みなさい。」と言われました。その時に、委員会の大切さがわかつて、真面目に取り組もうと思うことができました。

6年生の委員会では、自分から委員長に立候補し、図書委員長になりました。最初は緊張したけど上手くまとめることが、進めることができました。でも、何をするかを決めたり、時間内にしなければいけないことを終わらせたり、意見が出てこなかったときはどうすればよいなどを考えたりするのが大変です。委員長として、お手本にならなければいけないし、みんなをしっかりまとめられているのか不安になることもあります。

委員会では、委員長としての責任の重みとやりがいを感じながらがんばっています。

年間学校行事



4月 <ul style="list-style-type: none"> ●始業式・入学式 ●春の交通安全指導 (1年歩行・3年自転車教室) ●4・5・6年学力調査 ●学校公開・学級懇談 	5月 <ul style="list-style-type: none"> ●春の遠足 ●地域訪問 ●1年生を迎える会 	6月 <ul style="list-style-type: none"> ●器械運動交歓会 ●町小学校音楽会 ●プール開き ●学校公開 ●学校安全委員会 ●6年宿泊体験学習
7月 <ul style="list-style-type: none"> ●5年宿泊体験学習 ●1学期終業式 ●通知表渡し ●夏季休業 	8月 <ul style="list-style-type: none"> ●学年登校日 	9月 <ul style="list-style-type: none"> ●2学期始業式 ●秋の交通安全指導 ●グッドマナーキャンペーン ●秋季大運動会 ●5年宿泊体験学習



入学式

桜満開の4月、暖かい春の日差しの中、ピカピカのランドセルを背に、あこがれの津幡小学校に入学しました。新しい友達にワクワクと緊張を感じながら、担任の先生に名前を呼ばれて、「はい！」と大きな声で返事ができました。

低学年遠足

1、2年生のみんなで、あがた公園に行きました。白いトランポリンで跳んだり、色々な遊具でみんなと遊ぶことができたり、とても楽しい遠足でした。



中学年遠足

とても暑い日でしたが、中条公園までみんなで声を掛け合い、がんばって歩きました。公共の道路を歩く時のマナーも学びました。



高学年遠足

森林公园で森林セラピーを体験しました。自然の音を聞いたり、植物や生き物を見つけて、自然を五感で感じることができました。



年間学校行事



3年生の社会科見学

3年生が社会科見学にスーパーマーケットへ行ってきました。どうしたら商品が売れるのか、お店の工夫を学んできました。バックヤード(裏側)の見学では、普段みれない光景に目を輝かせていました。

6年生体験学習

いかだ作り、カヌーやアーチェリーなど、貴重な体験をしてきました。とても暑い日でしたが、仲間と協力し合うことの大切さも学びました。



運動会

2022年は「不撓不屈～406人の消えない情熱～」のスローガンのもと運動会が行われました。練習の成果を発揮しようと全校児童が一丸となり一生懸命がんばりました。白熱した優勝争いとなり、赤組、白組ともに応援にも力が入りました。笑顔と元気あふれる運動会となりました。



プールそうじ

プールそうじに精を出す6年生。楽しんで掃除してくれています。おかげで、きれいなプールで気持ちよく泳ぐことができました。6年生の皆さんありがとうございました。



あいさつ運動

津幡小学校恒例の朝のあいさつ運動です。お兄さんお姉さんたちに大きな声で『おはようございます!』と迎えてもらい、新1年生も元気ができますね。

年間学校行事



- 10月**
- 学校保健委員会
 - 6年小学校体育大会
 - 校内マラソン記録会

- 11月**
- いしかわ教育ウィーク
 - 学校公開
 - 就学時健診
 - 引き渡し訓練

- 12月**
- 2学期終業式
 - 通知表渡し
 - 冬季休業

- 1月**
- 3学期始業式
 - 地域学校保健委員会
 - 授業参観

- 2月**
- 中学校進学説明会
 - 6年生を送る会・感謝の会
 - 中学校進学説明会

- 3月**
- 卒業式
 - 修了式・離任式
 - 春季休業



5年生町音楽会

がんばった成果を見せる大舞台で、真剣な眼差しの子どもたちが指揮者を見つめています。
強くてやさしい歌声は、会場いっぱいに響きわたりました。

6年生町体育大会

津幡町内の6年生が集まり、100m走や選択種目、町歌体操にチャレンジしました。
学校対抗リレーでは、熱い戦いが繰り広げられました。



年間学校行事



校内マラソン記録会

晴れ渡る秋空の中、力いっぱい走り切りました。
練習の成果をしっかりと出すことができました。



卒業式

長いようであっという間の6年間。小学校での6年間の思い出を胸に立つ姿はとても凛々しく、一人一人しっかりと足どりで卒業証書を受け取りました。



5年生森林体験学習

森林公園で木の間伐を見て、自然観察を行いました。
普段できない体験を通して、環境問題への理解を深めました。



3年生町探検

自分たちが住んでいる津幡町のことについて調べました。
地域のお店の方や、町を守ってくれている警察の方にお話を聞き、
この町がもっと好きになりました。



昔の学校の様子

木造第二期



昭和22年10月29日 昭和天皇行幸



昭和30年1月12日 アルマイトの食器にコッペパン



昭和30年1月28日 授業風景



昭和32年8月5日 だんだら石段イチ・ニ・サン



昭和32年9月24日 下の運動場での運動会

昔の学校の様子

鉄筋校舎期



昭和43年 校舎全景



昭和43年 校舎内廊下



昭和53年 航空写真による全景



昭和53年 個性豊かに表現クラブ



昭和53年 プール開き



昭和55年 運動会・組立体操



昭和56年 鼓笛隊・カラーガード隊



昭和56年 豪雪も楽しく

近年の学校の様子



6年生国語

さすが最高学年！発言者の意見をしっかり聞き留め、みんなで授業を進めます。意見を出し合いまとめる力もつけました。

5年生社会

5年生ともなればクロームブックもお手のもの。とってもスムーズに操作できます！分からぬ部分は助け合いながら学んでいきます。



4年生外国語

シャーデー先生から異国の文化や言語を学び、豊かな知識を深めます。真剣な表情で学ぶ姿勢がかっこいいですね。



近年の学校の様子



3年生体育

気温の高い日は、エアコンの効いたランチルームで授業を行います。暑くても元気に体を動かす子どもたちです！

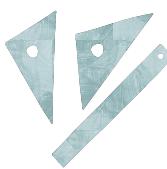
2年生算数

先生のお話にしっかり耳を傾け、頑張って授業に取り組んでいます。1年生からぐんと成長した後ろ姿が凛々しいです。



1年生授業

一人で考えたりお友達と相談したり、一生懸命考えて手を挙げ発表している姿に成長を感じます。



近年の学校の様子



委員会

5.6年生で運営する委員会活動。
先生の話をよく聞き、委員会のお仕事にしっかり取り組んでいます。



クラブ活動

月に一度しかないクラブ活動、楽しみながら1時間たっぷり体を動かします。



クラブ活動

自己紹介する材料を検索し巧みな操作で工夫しながら作成しています。集中していますね。

